あま市市民活動センター　あまテラス　ニュースレター

あまがすき

創刊号

We love AMA

SPECIAL INTERVIEW

市民活動を通して広がった、私の世界

あま市サクサク盛り上げ隊

武舎　妙子さん　Musha Taeko

あま市サクサク盛り上げ隊のみなさん。あまえん坊の活動をサポートし、市内外であま市のPRをしています！

あま市公認キャラクター、あまえん坊の活動を応援する団体「あま市サクサク盛り上げ隊」。そのメンバーであり、あまえん坊のお母さんでもある武舎妙子さんにお話を聞きました。母子寡婦福祉会や伊福コミュニティでも活動し、あま市まちづくり委員会委員長も務めています。様々な活動に関わる武舎さんに、市民活動の魅力などを伺いました。

イベントで使いたいというリクエストを受け、武舎さんがイラストを描いたあま市カルタ。得意分野を活かしてできることが広がっています。

あまえん坊の応援をはじめ、幅広く活動されていますが、活動を始めるきっかけは？

あまえん坊誕生のきっかけは、あま市ができた三町合併です。友人に誘われ、新しい市を盛り上げるために、あまえん坊が生まれました。昔から「やりたくない」という発想があまりなくて。お話をもらって、できそうなことなら飛び込んでいっちゃうんですよ。

あまえん坊、母子寡婦福祉会、地域活動など、色々な活動を掛け持されていますね？

「プライベートな時間がないでしょ～」と声をかけられるのは多いですね。でも、仕事も含め、全部が自分の時間だと思っています。せっかくなら自分事として楽しみたいですよね。市民活動であっても、ひとつやりきれば「次はもっと面白いことをしよう」という話になります。自分からアイデアを出して挑戦すると、「こんなこともできるんだ」と発見もあります。自分がキャラクターグッズをデザインしたりするなんて、思いもしませんでした。やることは増えても、自分のパワーになって返ってくる。それを楽しみにしています。

市民活動の魅力は何だと思いますか？

身近だけど知らないことは沢山ありますよね。ボランティアでも、一歩踏み出したら、見える世界がぐっと広がりました。想いを一緒にできる人との出会いもあります。「これをやってみたい！」と言った時、一緒に盛り上がれる仲間がいるのが嬉しいんです。市民活動は、人生を楽しもう、良くしようという人と出会えるチャンスのひとつだと思います。

REPORT

今月の市民活動

あまテラススタッフが
各団体の活動の様子をレポート！
ホームページでは、もっとたくさん
紹介しているので、そっちも見てね

親子で学ぶいざという時の防犯

2/7・8　NPO 法人 ママ・ぷらす主催
キッズ＆ガールズ逃げ切る護身術

2月7日と8日、NPO 法人ママ・ぷらす主催の「キッズ＆ガールズ・逃げ切る護身術」のプレ講座が開催されました。

講座では、「犯罪者に狙われないための心構え」や「力を発揮できる身体の調律法」をしっかりレクチャー。ただ護身術を学ぶだけでなく、日常生活を振り返る内容でした。身体の調整法として行った、先生考案の柔軟体操は効果てき面！参加した親子からは度々驚きの声も！手を掴まれた時のほどき方など、親子で一緒に実践しながら学びました。

今回はプレ講座での開催。新年度以降の展開も要チェックです！

2/8　沖之島自主防災会主催　防災講話

2月8日、沖之島自主防災会主催の防災講話が開かれました。

講師は、阪神淡路大震災の救助救援にも参加したあま市防災専門員の田中隆雄さん。ご自身の経験談や日頃できる防災の取組みに関するお話をしてくださいました。

2014 年の長野県北部地震で住民の助け合いが死者ゼロにつながった話にも触れ、地域での防災知識の共有、助け合いの大切さが伝えられました。

今回の参加者は、沖之島の方を中心に約 40 名。近くで暮らす人同士が、防災を一緒に考えられる機会は大切ですね。

あれから 20 年…。節目に考える地域防災

1/24　あま市サクサク盛り上げ隊　＆
あま市ラジオ体操連盟　ラジオ体操指導会

1月 24 日、あま市ラジオ体操連盟が、あま市公認キャラクターあまえん坊と海部津島で活躍するアイドルグループ P-Loco に、ラジオ体操指導会を開きました。

知っているようで知らない、正しいラジオ体操のやり方。本気でやると、健康にとってもいいんです。

勇健都市を目指すあま市で、ラジオ体操連盟と一緒に、あまえん坊もラジオ体操を広めていきたいのだとか。

いつでも、どこでも、誰でもできるラジオ体操での健康増進。みなさんもいかがでしょうか？

公認キャラもするという、ラジオ体操

INFORMATION

あまテラス掲示板

耳よりの市民活動情報をお届けいたします！

登録団体さんからの情報提供も大歓迎！

3/28 春に見直す自宅の防災

非常時のために「何を準備したらいいの？」「非常食ってどんな味？」
あま市防災ネットが、体験あり、ゲームありの体験型講座でお話いたします！！

＜イベント内容＞
- 防災ビンゴで考える非常持ち出し袋の中身
- いろいろあるよ！非常食の試食会
- 家具転倒防止の正しいやり方
- あま市の防災。ここが大事！（あま市防災ネット活動紹介）

など、役立つ防災知識がいっぱいです。

日時：3 月 28 日（土）10 時～12 時
場所：あま市市民活動センター
（あま市七宝町遠島十坪 119-2）
参加費：無料
事前申込み不要　当日会場へお越しください
お問合は 052-445-1900（市民活動センター）まで

あま市初！

あまテラスは公衆無線 LAN スポットです！

あまテラス内では、無線 LAN を使って、パソコン、スマートフォン、タブレットなどを、インターネットにつなぐことができます。
あまテラス窓口で利用申請をしてください。

あまテラス内公衆無線 LAN について
利用希望の方は、あまテラス受付で利用申請してください。登録団体のメンバーの他、個人での利用申請も可能です。利用目的は、原則市民活動に関するものに限ります。

87 団体が登録

ボランティアに興味のある方は要チェック！

2015 年 2 月現在、あまテラスには 87 の市民活動団体が登録しています。
地域コミュニティ、子育て支援、動物愛護、歴史、音楽、写真、スポーツなどの振興、ご当地キャラ応援隊、高齢者サロンなどなど様々です！
あまテラス HP で一覧をご覧いただけます。

ボランティア活動に興味のある方！団体の紹介もいたします。お気軽にお問合せください。

甚目寺さくらまつり

今年初開催！3/29 は甚目寺観音へ！

太鼓、よさこい踊りなど、あま市各地の伝統芸能の団体による演奏や発表をはじめ、甚目寺観音の広い境内で、1 日多彩な内容を楽しめます！
ご当地アイドル AMT（海部地域盛り上げ隊）や、あまえん坊も登場します！春のはじめにぜひ甚目寺観音へ。

日時：3 月 29 日（日）10 時～15 時
※ 雨天延期　予備日は 4 月 5 日
場所：甚目寺観音

コーラスしませんか？

音楽ネットこすもと一緒に歌いましょう♪

音楽ネット こすもでは、4 月からの混声コーラス練習会の参加者を募っています。
4 月から 12 月まで毎月 2 回開催。みんなで一緒にコーラスの練習をして、音楽ネットの夢コンサートで歌いましょう！

詳細は音楽ネットこすもへお問合せください
TEL 090-2612-6210（担当：大宮）
FAX 052-442-8654
Mail sio-choko.0216@docomo.ne.jp

GRAPHICS あまテラス写真館

▼あまテラス主催
魅力的なチラシづくり講座

▲沖之島地区コミュニティ
夜間防犯パトロール

▼沖之島地区コミュニティ&
あま市サクサク盛り上げ隊
名鉄ハイキング

▲サロン いこい・しのだ 月一定例サロン

▲ボラ・エコー 慰問コンサート

▲音楽ネット こすも 夢ミニコンサート

あま市市民活動センター あまテラスをご利用ください

市民活動団体の方は…

団体登録すると各種サービスを利用できます！

●センターの設備・機器を利用できます

白黒コピー(無料)、紙折り機、ラミネーターなど、各種機器を利用できます。打ち合わせスペースも無料で貸し出します。

●会員募集やイベント告知をお手伝い

会員募集や集客を、ホームページでの告知などでお手伝いします。活動の取材もいたします。

●助成金獲得などのご相談を受け付けます

市民の方は…

市民活動に関わるきっかけをお手伝いします

●ボランティアできる団体をご紹介します

ボランティアできる場を探している方に、登録団体をご紹介します。活動に参加するためのお取次ぎもいたします。

●広く市民に向けた各種講座を開催します

各種講座をあまテラス単独、もしくは登録団体と連携して開催いたします。詳細はあまテラスへお問合せください。

あまテラスに関するお問合せなど、お気軽にお寄せください。ホームページでは、日々、あま市の市民活動の最新情報をお届けしております。「あま市市民活動センター」で検索してみてください！

発行 あま市市民活動センター あまテラス

所在地： あま市七宝町遠島十坪 119-2 七宝産業会館 1F

TEL：052-445-1900 FAX：052-445-2030

Mail： info@ama-shiminkatsudo.jp

開館時間： 9 時～17 時

閉館日： 毎週月曜、祝日の翌日

イベント、講座の最新情報は、ホームページで発信中！！

URL http://www.ama-shiminkatsudo.jp/

編集後記

「郷土愛＝市民活動」と、ある登録団代の方がおっしゃっていました。なるほど～と、本誌タイトルに「すき」という言葉を使いました。みなさんのあま市愛を、定期的にお届けいたします（小林）